0歳児からの

保護者の情報モラルー工機器利用と

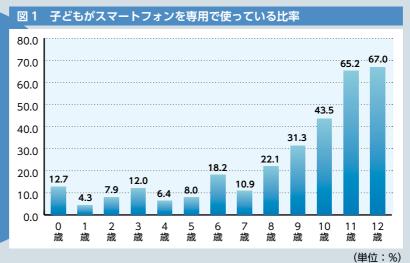


本事業は競輪の補助を受けて実施しています。

】 [2] [2] 一般社団法人 日本教育情報化振興会

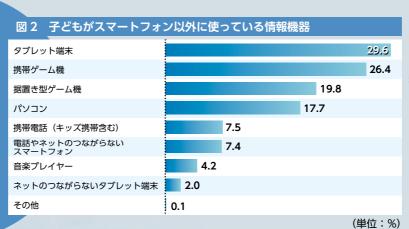
O 歳児でスマートフォンの専用利用も! 乳幼児を含めた

子どもは どれくらい 専用で スマートフォンを 使っているの?



- ・0歳児からスマート フォンを専用で使わ せ始めている保護者 がいます。
- ・小学校中学年以降、 所有率が上がってく るので、学校の実態 に合わせて指導が必 要です。

子どもは スマートフォン 以外にどんな 情報機器を 使っているの?



ゲーム機の利用も少なくありません。過剰な利用をしていないかチェックが必要です。

〇スクリーニング条件

①末子が 12 歳以下

②末子にスマートフォンを 使わせている。 〇本調査

調査日:2017年

10月10日~16日

有効回答数:母親回答 1,671 人



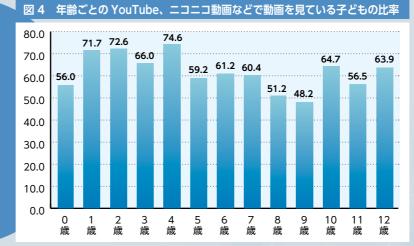
子ども、保護者のスマートフォンの利用実態を紹介します。

子どもはどんな サイトを見て、 アプリを 使っているの?

図3 子どもがスマートフォンでほぼ毎日利用しているサイトやアプリ YouTube、ニコニコ動画などで動画を見る 64.1 42.9 ゲームをする LINE でのコミュニケーション 16.5 学習アプリを利用する 14.3 SNOW,Camere360 などで写真を撮影・加工する 8.9 Twitter、Facebook、Instagram を見る 4.1 子どもがどんなサイトやアプリを使っているか分からない 3.3 ニュースを読む 2.9 電子書籍、電子コミックを読む 2.2 1.7 Twitter、Facebook、Instagram に書き込む YouTube、ニコニコ動画などに動画を投稿する 1.6 各種クーポンを入手する 1.2 ニコニコ生放送、ツイキャスなどでライブ動画を見る 1.0 モッピー、げん玉などのお小遣い稼ぎアプリを利用する 0.9 ニコニコ生放送、ツイキャスなどにライブ配信する 0.2 その他 9.8 (単位:%)

多くの子どもが動画を 視聴し、ゲームも利用 しています。一方で、 学習アプリを使ってい る子どももいます。





動画は子どもの興味を 引くようです。従来の 文字・静止画の情報で は物足りなさを感じる 子どもも出てくる可能 性があります。



スマートフォンを 使って 子どもに どんな変化が あるの?



- 「ネットで調べる習慣 がついた」「楽しそう にしている」「知識が 増えた」など肯定的 な回答が多い一方で、 「勉強しなくなった」 「見る情報が偏りがち になった」「考えるこ とをしなくなった」 という否定的な回答 もありました。
- これだけネットが普 及した状況だからこ そ、じっくり思考し て解決していく場の 設定も求められます。

(単位:%)

子どもが スマートフォンを 安全に使うには?

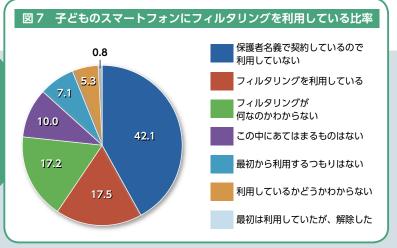
図6 子どもがスマートフォンを安全かつ 適切に活用する力をつけるために、母親が有効だと思っている事柄

ためについて あんりとうじ あんのにく 立木	が、日外にこむっている子的
親子間で約束事を作ること	91.1
保護者のネット利用に関する知識の向上	87.9
保護者に対する情報モラル・情報活用教育	82.5
保護者間での子どものネット利用に関する情報の共有	82.3
親による子どもへのインターネットリテラシー教育	81.8
学校による情報モラル・情報活用教育	81.8
ネットサービス事業者に利用時の被害を予防する仕組みの 導入を義務付ける法令の制定	81.5
携帯電話販売会社の履行義務の徹底 (フィルタリングサービスの説明など)	79.8
フィルタリングやペアレンタルコントロールの利用	76.5
マスメディアによる情報モラルや情報活用に関する啓発	72.2
ネット事業者やアプリの提供事業者による出前授業や 教育用アプリの配信、リーフレット、HP での情報提供	66.5
一定の人しかネットを使えないようにする制度の導入 (ネット免許制など)	65.7
上級生からのアドバイス	58.5
地域の有志・ボランティアによる情報モラル・情報活用教育	56.7
行政・企業などによる相談窓口の拡充	55.9
	(単位:%)

- ・多くの人が保護者の 役割の重要性を認識 しています。
- 保護者に向けて、情 報モラルの内容を理 解してもらう働きか けが重要です。
- ・そのためにも保護者 にさまざまな情報を 提供することが効果 的です。

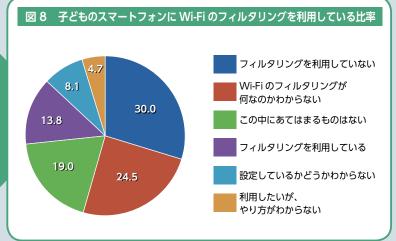


子どもの スマートフォンに フィルタリングは あまり利用されて いない



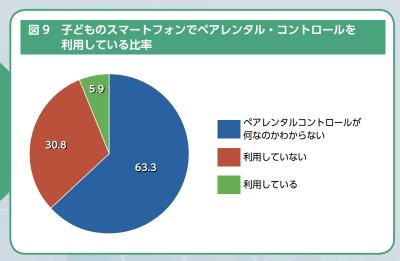
- ・子どものスマートフォンに フィルタリングはあまり利用 されていないのが実態です。
- 保護者が購入して子どもに使わせている場合、フィルタリングがかけられていないことがあります。
- ・保護者にフィルタリングの必要性を理解してもらうことが 重要であり、特に子ども名義 に切り替える際がポイントと なります。

保護者は、子どもの スマートフォンに Wi-Fi の フィルタリングを ほとんど 利用していない



- ・Wi-Fi のフィルタリングが何 だかわからないという保護者 もいます。
- ・Wi-Fi のフィルタリングの意 味と必要性を理解してもらう ことが重要です。

保護者は ペアレンタル・ コントロールを 知らない



- ・多くの保護者はペアレンタル・ コントロールを理解していま ++4
- ・ペアレンタル・コントロール の意味や利用のしかたを理解 してもらうことが大切です。
- ・ルールを作り、子どもも納得 した上でペアレンタル・コン トロールを利用すると、より 効果的です。



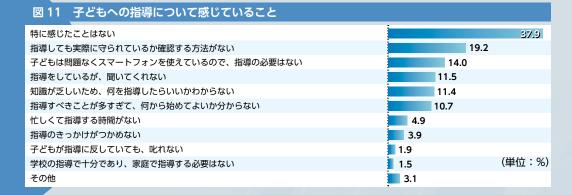
保護者はどんな ルールをつくり、 指導しているの?

図 10 スマートフォンの利用について、子どもにどのようにルール作りや指導をしているか。 利用時間を決めている 53.9 有料のサイトやアプリを利用しない 36.4 利用マナーの確認(食事中は使用しない、歩きスマホをしない、公共の場ではマナーモードにすることなど) 32.8 他人を傷つけるような書込みをしない 15.8 自分のプライバシーを守るための対処法 (SNS の設定など) 14.5 必要性は感じているが、特にルール作りや指導はしていない 13.9 ネットの情報をむやみに信じない 13.7 ネット上の危険(有害情報、詐欺、誹謗中傷、いじめなど)に対する回避や対処の仕方 13.1 他人のプライバシーを尊重する(他人の情報や写真を断わりなく SNS などに載せないなど) 10.9 自分の気持ちを伝えたいときは、直接会って話す 10.3 ネット上だけの友だちは作らない 9.9 著作権、肖像権などの法的権利を遵守する (違法ダウンロードをしない、使用許諾を得るなど) 9.3 スマートフォンのパスワードを保護者に教える 8.1 6.0 課金の上限を決めている ルール作りや指導の必要を感じていない 3.5 その他 3.3

(単位:%)

- ・利用時間や利用マナーなど使い方に関するルールが多い一方で、トラブルや安全など利用内容に関するルールづくりは不十分です。
- ・中にはルールづくりや指導をしていない保護者もいます。
- ・子ども専用のスマートフォンを所有させる際には、トラブルや安全など利用内容に関するルールについても話し合うことが大切です。

保護者は 子どもへの 指導について、 どのように 感じているの?



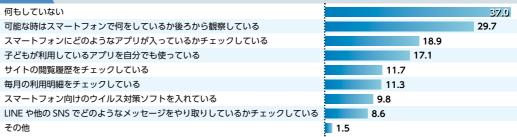
- ・とくに問題を感じていない保護者やどのように指導していいのかわからない保護者が少なくありません。
- ・悩んでいる保護者へのフォローが必要です。
- ・子どもが幼いときにこそ、スマートフォンの利用状況について子どもとよく話し合うことが大切です。



子どもの スマートフォンの 利用にどのように 対応しているの?

図 12 子どもへの指導について感じていること

図 13 子供がスマートフォン利用で経験したこと



(単位:%)

子どもの利用状況を確認することはなかなか難しいことですが、子ども専用のスマートフォンになると、さらに対応が難しくなるので、子どものスマートフォンの利用について日頃からよく目配りをしておくことが重要です。

子どもは スマートフォンで どのようなことを 経験しているの?

上記の被害にあったことはない	71.5
知らない人からメールやメッセージがきた	9.0
把握していない	8.4
有害サイト・アプリ(ポルノ、犯罪、自殺など)の利用・閲覧	6.0
架空請求・不当請求を受ける	5.1
使いすぎによる高額請求を受ける(架空請求・不当請求ではない)	3.2
ネット上で言い争いや誹謗中傷などにあう	2.3
自分から不用意にプライバシー情報を公開してしまう	2.1
いたずらや悪ふざけの画像・動画を投稿する	1.4
他人にプライバシー情報をさらされる	1.0
違法にアップロードされた動画や音楽をダウンロードした	0.9
ネットの書き込みの削除ができなかった	0.2
	(単位:%)









母親の ネットでの 行動は?



(単位:%)

多くの保護者はマナー、モラル、法を守り責任ある利用を心がけ行動しています。親が守っているルールやマナーについて、子どもにもよく話してあげましょう。

母親はネットで どのような経験を しているの?

図 15 母親自身のネットでの経験 歩きながら、「ながらスマホ」をしたことがある 74.9 話題のアプリなどをネットやスマホで家族と楽しむことがある 67.5 保護者同士の LINE などの SNS のやりとりを面倒と感じることがある 65.1 ネットで副収入を得たことがある 57.3 31.7 子どもなど家族の写真を本人に相談せずネットに載せたことがある インターネットで初めて知り合った相手と実際に会ったことがある 30.9 インターネットで知り合い、ネット上でしか会話したことがない友達がいる 23.9 ネットに自画撮り画像を載せたことがある 23.1 家族に隠れてスマホを利用したことがある 21.2

(単位:%)

- がらスマホをするなど、子 どもに「してはいけない」と 指導していることを守ってい なかったり、保護者同士の SNS のやりとりを面倒と感じ たりすることもあるようです
- ・子どもの見本となる行動をとるように、保護者にも必要に応じて注意喚起もしていくことが求められます。



一般社団法人日本教育情報化振興会 info@japet.or.jp

●委員

東京大学大学院情報学環 教授 橋元良明 エンジェルズアイズ 代表 遠藤美季 一般社団法人インターネットユーザー協会 代表理事 小寺信良 筑波大学人文社会系 教授 土井隆義 千葉大学教育学部特命教授・附属中学校副校長 三宅健次 帝京中学高等学校 教諭 三輪清隆 東京大学大学院学際情報学府 博士課程 堀川裕介 ●制作・編集イラスト制作 ヤマネアヤページレイアウト 新里真美編集 藤田由美子